

## 途上国における開発モデル

黒田インターナショナル

黒田 毅

途上国における開発モデルは、時代先端技術とシステムにおける社会構築と行政生活の構築を提案する。これらは内需における自己産業の育成とともに、先進国からの援助とともに、国内インフラの整備を行う。

これらは研修において人材の育成を経て、自国の建設を実現するのである。これらは国家におけるインフラ整備と社会システムの構築を先端基準において実現することであり、資本の確保と内需における育成は、国内における社会基盤を同時に整備できる。

これらは国際社会における援助要求と協力において実現し、自国における教育環境の整備は、将来における自立した国家運営を構築する。

これらの要点は、先進国と同じ基準において国家構築を行うことであり、それら技術と学術性は、人材の育成を要求される。

これらは政治における明確な合意と計画において現実化できるものである。

これら資本の確保は、その計画性と政治における自己基準とビジョンにおいて必ず自国の生活社会環境をその先端性において構築できるのである。